

令和7年度 第1回幸田町総合計画審議会 議事録

日 時： 令和7年6月17日（火）13時30分～15時10分

場 所： 幸田町役場4階 ホール

参加者： 委員名簿（別紙）

配布資料：

- ① 令和7年度第1回幸田町総合計画審議会 次第
- ② 令和7年度第1回幸田町総合計画審議会委員名簿
- ③ 令和7年度第1回幸田町総合計画審議会
- ④ 第7次幸田町総合計画 施策体系図（案）
- ⑤ 取組分野別「目指す姿」「現状」「課題」（事前配布資料）
- ⑥ 前回（R6年度第2回）幸田町総合計画審議会意見箇所対応表

1 挨拶

【町長】

- ・ 総合計画とは、将来に向けて町としてどんなまちにしていくのかを盛り込むものですので、様々な分野や地域の代表である審議委員の皆さんにそれぞれの分野および地域に関する意見を出していただきたいです。
- ・ 時代認識として、戦後、みんなが一緒に頑張ってきた時代から、社会や経済が安定し、国民の生活が豊かになってきた時代を経て、コロナ禍を乗り越え、DXなどで新しい取り組みが必要な時代となりました。
- ・ 今後も幸田町に多くの人に住んでもらえるような魅力的な町としていきたいと思えます。幸田町ならではの総合計画とするため、現在、30～50の団体や各分野の人に意見を聞きながら総合計画にどのように盛り込んでいくか作業を進めています。
- ・ 10年後に振り返ってみて、時代が変わっていくことで個別の取組は変わっていく一方で、基本方針がここで定められていたということが分かるような総合計画としたいと思えます。
- ・ 防災や暑さ対策、水害対策などの災害等の危機対応や、人口減少や少子化への対応、皆さんの生活を支える働く場所の確保などについて盛り込みたいと思えます。
- ・ 私自身も総合計画の最初か最後に、どのような考えで町政を進めてきたのかを明らかにするようなことを記載し、後世の人たちに引き継げるような総合計画としていきたいと思えます。
- ・ 今日は皆さんがそれぞれの思いをご発言いただき、有意義な審議会としていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【廣井会長】

- 本日の目的は3つです。まず、基本構想について、前回の審議会（令和6年度第2回）で出していただいた意見を踏まえて修正案を作成されましたので、それについて確認いただきたいと思います。
- 続いて、基本計画として施策体系（案）を作成しましたので、それについて確認いただき、取組分野に過不足がないかについてご意見をいただきたいです。
- 最後に、施策体系（案）に基づいて、各担当部署から出された「目指す姿」「現状」「課題」についてまとめましたが、それについて確認いただき、追加や修正が必要であれば意見をください。
- 土地利用構想などは次回以降に確認いただきます。

2 議事 第7次幸田町総合計画における基本構想（修正案）および基本計画（案）について

【事務局説明】

- 配布資料③に基づき、事務局である幸田町企画政策課の内田主査から総合計画の概要について、基本構想（修正案）、基本計画（案）について説明を行った。
- 配布資料④、⑤にもとづき「基本目標」「取組方針」「取組分野」の施策体系図（案）について説明した。
- なお、取組分野別「目指す姿」「現状」「課題」については資料⑤を事前に送付することで、確認と意見を求めた。

【廣井会長】

- 人口が減るということが言えずに微増とするということが多々あるため、人口微増という目標を定めることは、総合計画にとっては失敗パターンと言われることがあります。今計画では、現状42,000人から人口目標を43,000人としたことは微増ではありますが、前回までの議論で、根拠をもって定めたということで私は良いと判断しました。
- また、現在の基本計画案では他市町との違いを出せていないので、審議委員の皆様には幸田町ならではの目指すべき姿の肉付けをしていただきたいと思います。
- 本日はすべての委員からご発言をいただきたいので、できるだけ1人3分ずつ、順番にご発言ください。

【委員からの意見】

○教育委員会 教育長職務代理 中西委員

- 学校教育に関しては、学校の先生の働く環境の改善や支援学級の体制整備など現場では充実した取組が進んでいます。
- 私が委員になってからの取組ですが、学校給食を教育委員が年1度食べることも始め、

適切な給食が提供されていることを確認しています。

- 次に、複数の分野で地域でのコミュニケーションの希薄化が問題として挙げられています。例えば、防災分野では本来は行政による公助よりもまずは地域での共助が主だと思われう。地域でのコミュニケーションの充実などが求められていると思います。
- 自分自身の地区では婦人会が解散となり、防災の中で婦人会が果たしていた役割をどうするかが課題となっています。このような状況の中での共助の意識向上が必要とされています。
- 公共施設の整備がこれまで進められてきましたが、建築から年数が経った公共施設も多くなっています。例えば、公民館が各区ごとに整備されたが、その更新に当たっては他地区の公共施設や他の機能を持つ公共施設との統廃合や集約化を考えていく必要があります。

→ **事務局（柴田課長）**

- 学校教育への取組の充実化に力をいただきありがとうございます。
- コミュニティの希薄化は、防災をはじめ多くの分野で課題となっているというのは指摘の通りですので、地域でできること、行政としてできることなどを整理しながら取り組んでいきます。
- 公共施設の統廃合についても難しい面もあるが進めていきたいと思っています。

○**保健推進員協議会会長 安藤委員**

- 子育て支援について、以前から下の子の育児休業を取得中に、上の子が通っている保育園や幼稚園などの施設を退園させられる「育休退園」が問題になってきたが、これについての町の取組について聞かせてもらいたいと思います。

→ **事務局（内田部長）**

- 町としても問題として認識しており、今後、子育て支援を充実するなかで取り組みを進めていきたいと思っています。

→ **廣井会長**

- 特に変更、追記は必要ないですか。特に必要なしとのこと承知しました。

○**老人クラブ連合会会長代理 蜂須賀委員**

- 在住する区は幸田町の最も東側に位置した山間部で、ごみ不法投棄が大きな問題となっている。これまでも町役場の環境課や地域住民で対策をしてきたが、町として対策を進めて欲しい。

(現状、課題の中に加えるべきか)

→ 事務局（柴田課長）

- ・ 不法投棄については環境課としてもパトロールをしておりますが、「みどり豊かなまちを守る」という基本目標のもと今後も対策を引き続き行っていきます。

○商工会青年部部長 西尾委員

- ・ 目指す姿として「町内の企業で働くことができる」とされ、幸田町には工場も多く立地し、恵まれた環境ではあるが、実際に町内に住んでいる人の中でも、町内の企業で働いている人は少ない。もっと地元就職を進めて欲しい。
- ・ 今年、彦左祭りが無いのが残念。これまで祭りを盛り上げるため商工会青年部として取り組んできたので、来年以降続けていけたらと思います。

→ 事務局（内田部長）

- ・ 工場誘致をこれまで進めてきたことで働く場所としての工場は多く立地している。今後も働く場所としての工場の誘致を進めるとともに、町内で住める場所を確保するため土地区画整理事業を進めていきたい。
- ・ また、女性の働ける場所を町内で増やしていくことにも力を入れていきたい。
- ・ 町の活力を維持していくため、関係人口や交流人口を増やしていけるように取り組んでいきたいと思います。彦左祭りがどのようになっていくかは分かりませんが、ロケツურიズムなども進めていき、幸田町の名前を広げていけるように取り組んでいきます。
- ・ 町の魅力がキーワードであり、町に愛着を持ってもらったり、町を選んで住んでもらったりするために、町魅力を高めよう取り組みを総合計画全体として進めていきます。

→ 廣井会長

- ・ 工場を誘致するだけでなく、工場働く人に町内に住んでもらうことが重要という指摘であり、目指すべき姿の一つにそういうことを盛り込むか検討が必要です。
- ・ これは産業施策と住宅施策にまたがる話でもあるというのが難しい点です。また、祭りの話も文化の話であり、かつ観光の話でもあります。これらに限らず複数の分野にまたがる課題や取組をどのように示すかについて検討して欲しい。

○民生委員児童委員協議会副会長 伊藤委員

- ・ 地域コミュニティの育成、強化については重要な課題であり、地域任せではなく、行政として取り組むことだと思います。総合計画の中で施策体系の中でもっと上の方で扱って欲しい。

→ 事務局（柴田課長）

- 地域コミュニティに関する現状と課題を今回は書いているが、取り組みについてはこれから具体的に書いていくので、次回以降また確認いただきたいと思います。
- 施策体系図についてもどのような順番にするのかも含めて検討していきます。

→ 廣井会長

- 町が目指すべきコミュニティ像がどのようなものか分からないという指摘であると思いますので、次回以降より明確にしていきたいと思います。

○幸田土地改良区理事長 都築委員

- 改良区ではため池や農地等の管理などを行っており、現在、改良区として抱えている課題をお伝えしたいと思います。
- 山に近い土地では、業者によって土地の処理が適切に行われず、雨などで土が流れ出すなどの問題が起きていますので、町として対応していただきたいと思います。
- 治山治水として、排水機場の整備を順次進めてもらっていますが、「次年度以降の補助金の採択」と記載されているが、「補助事業の採択」として欲しいと思います。
- 水に親しみ水辺空間の整備の必要が記載されているが、まずはモデル的な事業として整備を進めて欲しい。例えば、県が管理する河川の堤防の草の高さが2m超となっており、年に1回程度しか草刈りをしていない。町からは草焼きをしていけないと指導されているが、河川を管理する車両の通行にも支障がでている。
- 前町長の時に、幸田川の堤防を散策路とするような構想もあったが実現されないままとなっている。計画したことがどうなったかが分かるよう公表して欲しい。

→ 事務局（柴田課長）

- 土地改良区による課題については、総合計画においては具体的な対策などを記載することは難しいと思いますが、町としては課題についての認識はしっかり持って対応していきます。
- 水辺空間に関しては、今のところ具体的に実現化されてはいないとは思いますが、菱池遊水地などの周辺での事業化なども可能性はあり、将来的に必要なこととして総合計画に記載していこうと思います。

○幸田町ボランティア連絡協議会会長 山本委員

- 居場所づくりとしてボランティアが集まれる施設が整備されましたが、自家用車など移動手段を持たない高齢のボランティアにとってそこへ行く手段が課題となっています。町から配布されるタクシー券も枚数に限りがあり、エコたんバスやチョイソコなどもあるが移動手段の一層の改善が必要だという声が多いです。
- ごみ収集について外国籍住民への説明会を開いていただいたが、転出転入もあるので

今後も継続して開いていただきたいと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- 公共交通については公共交通会議を開催しながらエコたんバスの路線やチョイソコの運行地域を再検討するなどより利便性をためる方策を検討しています。特に高齢者の移動手段として重要と認識しています。
- 外国籍住民へのごみ収集に関する説明会は今後も開いていきたいと思えます。

→ **廣井会長**

- 公共交通に関する目指す姿に「あらゆる人に移動手段を提供し、外出を促す」といった表現を加えるというご意見だと思えますので、追加を検討してください。

○**こうた環境ネットワーク代表 重松委員**

- 公共交通の取組は非常に重要です。町の魅力を高めるためのロケツーリズムも必要だと思いますが、高齢者の移動手段の確保にもっと予算を付けて欲しいです。町外へのアピールだけでなく、町民の生活向上に予算を使って欲しい。

→ **事務局（内田部長）**

- 「暮らしやすいまち」という基本方針の中に「快適な住環境をつくる」や「暮らしの土台をつくる」という取組方針が定められています。いただいたご意見も参考に町民の生活向上への取組を総合計画の中で位置付けていきたいと思えます。
- また、町としての PR も必要ですので今後も取り組んでいきます。

→ **廣井会長**

- 予算に応じて優先順位をつけていくことはコスパの問題でもあるので、それに関連した資料があれば次回以降提供いただければと思えます。

○**こうた女性の会会長 山本委員**

- 「交通安全対策の強化」という取組分野で目指す姿の一つは「安全に通行できる道路の整備」とされているが、これまでどのようなことが計画されて、その実施がどうなったのかについて教えてください。
- 来年度からは自転車の交通違反について取締り強化されるが、町としてはどのように取り組まれるのかについて教えてください。
- 災害時の避難においては、道路整備が十分でないところが問題となると思うが、それについてはどうされるのか教えてください。

→ 事務局（内田部長）

- 自転車の交通違反取締強化などは、学校での周知や町民への周知などによって担当課で対応していくこととなります。
- 通学路については国のガイドラインに沿ってガードパイプ設置を進めております。
- 災害時に使う重点道路が町内でも指定されていますので、優先的に整備を進めていきます。
- 町内の道路整備全般については予算に応じて順次進めていきます。

○区長会会長 尾崎委員

- 区長会としての意見は特に無い。
- 全般への意見として、人口目標を 43,000 人とするに対する取組が読み取れず、曖昧すぎるのではないかと思います。
- 人口目標に向けた取組についての記述が散在していて、全体として幸田町としてどのように取り組んでいくのかをもっとまとめて、例えば基本構想の中で 43,000 人をどうやって目指すのかについての記載が必要だと思います。
- 自然環境の「保全」は言葉として弱い。破壊や荒廃を防ぐような強い言葉が必要だと思います。これまでの取組の反省に基づいて記載をして欲しい。

→ 事務局（内田部長）

- 43,000 人という人口目標に向けた取組に関して追加で記載をしていきたいと思います。
- また、自然環境の破壊や荒廃を食い止めるための目標についてもご指摘を踏まえて検討していきます。

→ 廣井会長

- 土地区画整理事業によって人口 43,000 人を達成することは可能だと思いますが、それを目指すことについての記述については検討してください。
- 自然環境に関する記述についても指摘を踏まえて検討してください。

○幸田荻谷土地区画整理事業準備委員会副代表 稲吉委員

- 「活力とにぎわいのあるまち」に関連して、幸田駅のリニューアルが必要である。
- 幸田駅のホームを上下 2 つにできれば快速も止まるようになるのではないかと思います。幸田の町の発展のためには幸田駅の改築が必要だと思います。

→ 事務局（柴田課長）

- 幸田町だけではできないものですので、JR 東海に要望をしています。
- 駅舎については、三ヶ根駅のバリアフリー化を優先して取り組んでいる。

- 幸田駅の西側の賑わいを創出するようなことも検討しており、

→ **廣井会長**

- JR 東海との交渉もあると思いますが、幸田町として目指すべき姿を示すとともに、公共交通網の整備として示すことも重要ですので、次回以降、土地利用構想図でも示してください。

○日本福祉大学教授 児玉委員

- 基本構想について、今回の修正箇所については良いと思います。9, 10, 11 ページに示されている「理念」「将来像」「重点方針」「基本目標」の整合性を考えると、「理念」と「重点方針」「基本目標」については産業に関連する言葉があるが、「将来像」に産業に関する言葉が含まれていない。何か「産業」を連想させる言葉を追加できたらよいのではないかと思います。
- 一案ですが、「未来につなぐ「活力」ある緑住文化都市」としてはどうでしょうか。
- 施策体系図の中で「健やかに暮らせるまち」の中の「誰もが笑顔で過ごせる社会をつくる」という取組方針について、障がい者福祉と高齢者福祉の 2 分野とされている。一方、現状と課題には、地域福祉などに関する記述もあるので、地域福祉の分野も含まれると思われます。

→ **廣井会長**

- 「産住文化都市」としても良いのではないかと思います。

→ **事務局（柴田課長）**

- いただいたご意見を踏まえて検討していただきたいと思います。

【廣井会長】

以上を持って議事を終了したいと思います。

皆様からのご意見を踏まえて、基本構想、基本計画、施策体系に反映していただきたいと思っています。

【内田部長】

本日はお忙しいところお集まりいただき、慎重審議していただきありがとうございます。いただいたご意見をくみ取りながら策定を進めていきます。